

科目名		薬理学Ⅱ			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	救急救命士科2年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
主に病院内実習に必要な薬物の作用機序、適応、使用量など具体的に理解する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
テキストの救急医学概論を骨子に必要と思われる部分は各専門書を参考にしたプリントにて理解を深める。									
〔講師の実務経験〕									
薬剤師、衛生検査技師として、八尾徳洲会総合病院、国立大阪病院、に勤務。のちに救急救命士資格取得しコメディカルの育成に携わる。									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
学科テストを単なる優劣の差と考えず、基礎的知識の理解の指標とする。全員が合格点をとれる様に。									
回数	講義内容								
1	薬物総論(医薬品の分類、剤形、血中濃度、投与方法等)								
2	自律神経、心停止の薬物療法								
3	輸液の目的、浸透圧、アルカローシス、アシドーシス等								
4	細胞内液・外液、生理食塩水、乳酸リンゲル液								
5	複合低張性輸液(1号～4号)、電解質補正液(メイロン)								
6	5～10%糖液(水分補給)、50%糖液(低血糖時)								
7	経口糖尿病薬、インスリン製剤、高カロリー輸液(TPN)								
8	浸透圧利尿剤(マンニトール、グリセオール)、その他薬剤								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
救急救命士標準テキスト上巻									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
終講時試験。履修規定に準じる。									